出張！ふれあいトーク質疑応答

開催日：2026年9月27日

団体名：吉田東栄町自治会

No.	質問要旨	回答
6-1	当区（47組・48組）は下水道管が整備されておらず、接続したくても接続できない状況にある。接続をお願いする文書が出されているが、そもそも管が通っていないため、「つなげたくてもつなげられない」状況である。開発から20年近く経過する中、周辺では整備が進む一方、当該地域は取り残されているように感じる。合併浄化槽の利用自体を問題としているのではなく、今後の施策において地域が取り残されないよう、下水道整備を検討してほしい。	【市長】 現在の下水道整備計画は令和10年度までであり、まずは計画を進めることが基本となるため、現時点で計画区域外を新たに整備する予定はありません。令和10年度以降は、人口密度等を踏まえ、下水道管の整備や合併浄化槽による対応を検討します。当該地域が整備基準に該当するかは現時点で明確に答えられませんが、地域の状況を踏まえ判断します。 また、現在の管の整備状況やこれまでの経緯を改めて確認し、今後の整備について検討していきます。 【担当課後日補足】 当該地域を確認したところ、下水道計画区域内でありましたので、今後、下水道整備について検討します。
6-2	人口減少は日本全体として避けられない中、市が人口減少に抗う形で取り組んでいることは、よいことだと感じている。特に、交流応援人口を増やすことが、将来的に「このまちに住みたい」と思う人を増やすことにつながるのではないかと思う。県外に住んでいても地元への愛着を持つ人や、地域の行事に参加する人がいることから、金銭的な支援ではなく、まずは燕市の「ファン」を増やし、応援してくれる人を増やすまちづくりが重要だと思う。	【市長】 交流応援人口を増やすためには、市の取り組みや地域で活動する人たちの存在を発信することが重要です。SNSを活用した情報発信に力を入れるほか、地域に根付いた行事を伝承していくことは重要だと考えています。花火についても実施したい思いはありますが、場所の確保などの課題があり、関係各所と交渉を進めているところです。さらに、地域を応援できるふるさと納税の仕組みを検討しています。
6-3	地域に立地する企業の土地や施設が今後どうなるのかは、これからの地域づくりを考える上で非常に重要である。民間企業に関することであり、市長から話せないことがあるのは承知しているが、地域づくりの観点から、今後の活用や方向性について、話せる範囲でお聞きしたい。	【市長】 当該企業については、3年後に撤退という話を認識しています。市としても非常に影響が大きいため、企業がなくなってからではなく、その前からできることがないか、関係機関と連携しながら検討しています。現時点で話せることに限りがありますが、跡地がそのままにならないよう取り組んでいます。現在も事業が行われていることに配慮し、具体的に説明できる段階で改めて説明したいと思います。
6-4	旧吉田南小学校区については、まちづくり協議会などが一生懸命取り組んでいることは理解している。一方、地域で大型商業施設を運営してきた事業者の今後の状況が気になっている。また、医療機関が比較的少ないと感じており、高齢者が増える中、診療所や医療機関の誘致が可能か聞きたい。さらに、今後の地域開発について、スーパーやドラッグストアなど生活に便利な一方、飲食店等が少ないため、店舗誘致を含めたまちづくりを考えてほしい。	【市長】 当該の商業施設は、現在の形を維持することが難しい状況にあると認識しています。民間事業者の判断もあるため、市が直接介入することは難しいですが、地域にとって重要な場所であることから、今後の状況をしっかりと見ていきます。また、医師確保については、県の事業に参加し、医学生の学費を負担することで、卒業後に地域の病院に勤務してもらう取り組みを進めています。さらに国道116号吉田バイパスについては、部分的な先行整備や用地買収を進め、国と連携して早期着工につなげていく予定です。こうしたまちの基盤を整えることで、飲食店などの出店を促し、地域の活性化につなげていきたいと考えています。

出張！ふれあいトーク質疑応答

開催日：2026年9月27日

団体名：吉田東栄町自治会

No.	質問要旨	回答
6-5	下水道の整備状況を踏まえると、人口減少に対応してインフラをコンパクト化し、行政コストを抑制する方針ではないかと感じている。しかし、田園地域に住む市民の状況を考えると、行政サービスが行き届かなくなる懸念がある。人口減少が進む中、市が都市部だけでなく周辺地域も含め、インフラや行政サービスをいかに維持していくのか。	【市長】 居住誘導区域にできるだけ多くの方に住んでいただくことで、インフラ整備などの行政コストを抑える考え方はありますが、外縁部などに住む方への行政の関与をなくすものではありません。市民が安心して暮らせる環境を確保することは、市として担保していく必要があります。下水道についても、地域により整備方法や時期に違いはありますが、周辺地域を取り残すことなく、市全体として住みやすい環境を維持していきます。 【担当課後日補足】 将来的な人口減少を踏まえて下水道整備計画区域を大幅に縮小した「燕市汚水処理施設整備構想」を策定しており、引き続き効率的な下水道整備を進めていきます。
6-6	人口動態をみると、2000年から2020年にかけて、15歳未満の人口はおおむね3分の2まで減少し、15歳以上60歳未満の就業人口も3割程度減少する一方、65歳以上の高齢者は1.5倍程度に増えていると認識している。高齢者もできるだけ長く働いていただく流れになってきており、そのためにも健康であることがこれまで以上に重要になると感じている。そこで、健康寿命を延ばすための市長の考えや施策について聞きたい。	【市長】 健康寿命の延伸には、医療・健康に関する取り組みが重要です。「転ばぬ先の医療推進プロジェクト」の取り組みのほか、健診費用の支援や、かかりつけ医などで受けられる個別健診を進め、健康状態の把握や生活習慣の改善、必要な治療につなげていきます。また、オンライン診療など医療につながる環境を整えるとともに、「シニアNEXT人材バンク」や老人クラブなどを通じて、生きがいや社会とのつながりを持てる環境を整えることで、健康で長く暮らせる市を目指していきます。
6-7	みなみ親水公園は、地域住民や子どもたちに多く利用されているため、継続的な維持管理に力を入れてほしい。現在、芝生の雑草が増えているほか、木道や桜並木につながる通路が長期間通行できない状態にある。これまで要望の都度対応されているが、単発的な対応にとどまっているように感じる。地域の財産を維持するため、雑草管理や木道・園路の修繕、通路の復旧など、継続的に対応してほしい。	【市長】 すべての公園を同じように維持・整備するには大きなコストがかかるため、今後の方向性を整理する必要があります。当該の公園は今後も残していくべき公園の一つと考えています。雑草や木道、通路などの改善について担当部署と検討するとともに、現地を確認し、予算の制約を踏まえながら、改善に取り組んでいきます。 【担当課後日補足】 公園整備にあたっては、現地の状況、利用状況および整備費を鑑みながら計画的に行っています。その中で、みなみ親水公園の木道（八つ橋）については、整備に向けての準備に取り組んでいるところです。
6-8	みなみ親水公園は、子どもたちのアイデアでビオトープが整備されたが、現在は雑草や木材の腐食により立ち入れず危険な状態である。用水路や遊具にも危険箇所があるため、安全面を優先して対応してほしい。また、吉田駅脇の公園も荒れている。今後は大人の視点だけでなく、子どもたちが遊びたい、楽しいと思える公園を子ども目線で考えていくことも必要である。	【市長】 公園の維持管理について、整備が追いついていないとの意見をいただいています。市には多くの公園があるため、すべてを同じように維持・整備するのか、公園ごとに役割や機能を見直すのかを改めて整理する必要があります。今後も残す公園がある一方、地域の状況や利用実態を踏まえ、機能を変える場所もあると考えています。公園をより利用してもらい、子どもたちが安全に楽しく使えるよう、必要な整備に取り組んでいきます。

出張！ふれあいトーク質疑応答

開催日：2026年9月27日

団体名：吉田東栄町自治会

No.	質問要旨	回答
6-9	旧教員住宅から旭町へ向かう跨線橋の近くにある新興公園は、多くの人に利用されているが、トイレが古く、子どもが使うには不安を感じるため、防犯面にも配慮し、安心して利用できる環境にしてほしい。また、木製ベンチも傷みや割れが見られることから、耐久性や使いやすさを考慮したものへ更新を検討してほしい。今後、周辺の住宅増加に伴い子どもの利用も増えると考えられるため、より安全で利用しやすい公園として整備してほしい。	【市長】 限られた財源の中で、必要なところには費用をかけ、よりよい公園として維持していくため、まずはどのように整理していくか基本的な方向性を定めることが重要です。遊具の維持管理や更新には難しい面もあるため、個々の遊具だけでなく、公園として必要な機能を果たせるよう全体のあり方を整理し、安全で利用しやすい公園となるよう必要な整備を検討していきます。
6-10	下中野方面に向かう住宅地の道路では、以前から消雪パイプが十分に機能せず、全市で散水してもほとんど水が出ない状態が続いている。原因は老朽化か井戸等の関係など不明であるが、住民からは除雪を求める声もある。一方、除雪については予定されている除雪路線の計画があるため、対応が進んでいない。設備やポンプ等に問題がないか、点検を含め、現地の状況を確認してほしい。	【市長】 消雪パイプが十分に機能していないのであれば、現在の除雪体制を踏まえ、できるだけ早期に対応できるよう担当部署に確認します。除雪が必要な箇所について具体的に情報をいただければ、担当職員と共有し、必要な箇所に除雪が入るよう対応していきます。今回指摘された場所についても、現状を改めて確認した上で、可能な対応を検討していきます。 【担当課後日補足】 市内各所の消融雪施設は、老朽化により本来の機能が十分発揮されていない箇所もあるため、順次、計画的に更新工事を行っています。要望箇所については、今年度に調査を実施しており、散水不良の解消に向け、次年度以降計画的に消融雪施設の修繕を行ってまいります。
6-11	今後、「残す公園と残さない公園」をどのように整理し、どの程度減らしていく考えなのか。公園を減らすこと自体に反対ではなく、利用されていない公園などについては、適切に整理していくことも必要であると理解している。	【市長】 現時点で、公園を何割残す・減らすといった具体的な数値は決めていません。利用状況や地域における機能の必要性を確認し、それぞれのあり方を判断していきます。維持管理が難しい公園は、現在と同じ形で残すのではなく、緑地とすることも考えています。地域の意見や利用状況を確認しながら、公園ごとの実情を踏まえて整理していく予定です。 【担当課後日補足】 整理の第一段階として、児童遊園を都市公園に統合し、市内の公園や緑地を統一した考え方の下で管理していきます。